

たんだ新聞

号外

たんだ新聞編集部
〒270-1147
我孫子市若松26-4
我孫子市民図書館
TEL04-7184-1110



「はじめての古事記 日本の神話」

竹中 淑子／文
根岸 貴子／文
スズキ コーシ／絵
徳間書店（1-ハ）

むかしむかし、この世の始めには、まだ天も地もありませんでした。やがて天地が分かると、イザナキという男の神さまと、イザナミという女の神さまがあらわれました。他の神さまたちはよろこんで、二人に地上の国作りを命じます。

子どもから大人まで、わかりやすく親しみやすい、日本の神話の本です。



「はじめての万葉集 上・下」

萩原 昌好／編
中島 梨絵／絵
あすなろ書房（911-マ）



「くにのはじまり 日本の神話 第1巻」

赤羽 末吉／絵
舟崎 克彦／文
あかね書房（EAア）

いにしえを知る

～しんわ むかしばなし こてんぶんがく
～神話、昔話、古典文学など～

たんだ新聞とは…

子ども向けに発行している図書館の新聞です。今回、「秋のたより」の合併号として、いにしえの世界を舞台にした子どもの本を紹介します。



「絵で読む日本の古典 2 源氏物語」

田近 洵一／監修
ポプラ社（918-エ）

平安時代に書かれた「源氏物語」の名場面を、美しい絵とともに楽しむことができる1冊です。原文、現代語訳、語句の解説やコラムもあり、物語の理解を深めてくれます。



「はちかづきひめ」

長谷川 摂子／再話
中井 智子／絵
福音館書店（EAナ/MEAナ）

子どものないふうふが、毎日かんのん様に「どうか子どもをおさずけください」とねがっていました。すると、かんのん様がゆめで「子どもができたら、このはちを頭にかぶせ、決してぬがせてはなりません」と言いました。やがて生まれた女の子にふうふは、はちをかぶせて育てます。



「おとぎ草子」

大岡 信／作
岩波書店（1-オ）

昔から日本で親しまれてきた「おとぎ話」が7つ入っています。「一寸法師」、「浦島太郎」、「鉢かづき」、「酒呑童子」など。



「いっすんぼうし」

いしい ももこ／ぶん
あきの ふく／え
福音館書店
（EAア/MEAア/BEAア）

おじいさんとおばあさんのもとに、親指ほどの小さな男の子が生まれました。男の子は「いっすんぼうし」と名づけられ、かわいがって育てられます。しかし、13才になっても体は大きくなりません。小さくてもできる仕事はないかと、都へ出ていったいっすんぼうしは、おやしきで姫につかえることに。かしこく、ゆうかんな男の子のお話です。